

Environmental

Product

Declaration

EPD(環境製品宣言)

ISO 14025:2006 and EN 15804:2012+A2:2019/AC:2021 準拠



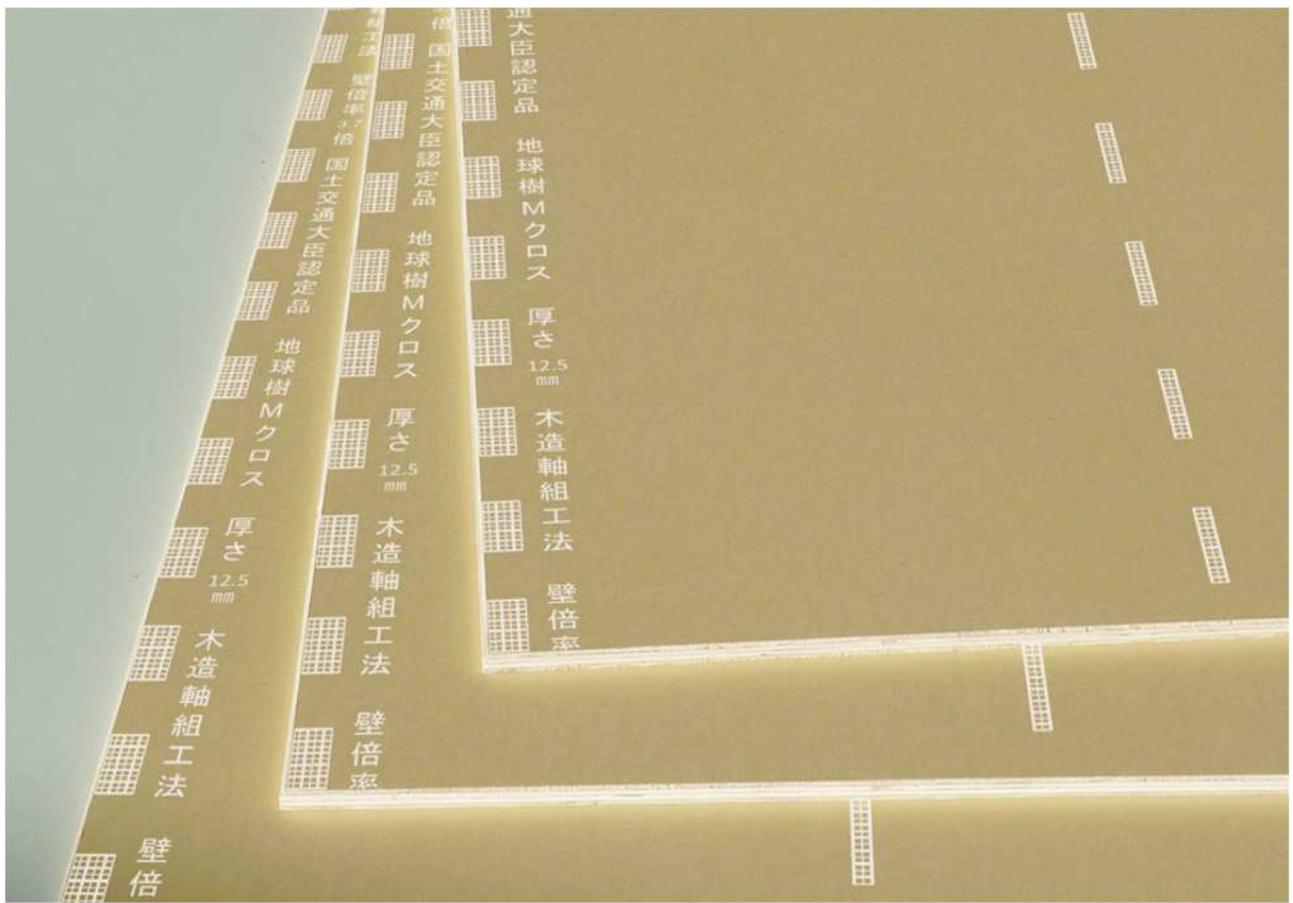
片面ボード用原紙張合板

伊藤忠建材株式会社



プログラム:	The International EPD System, www.environdec.com
プログラム運営:	EPD International AB
EPD 種類:	同一製品群の代表による EPD
EPD 登録番号:	EPD-IES-0027824:001
発行日:	2026-01-05
有効期限:	2031-01-05

EPD は仕様変更などにより更新または再発行される場合がある。
最新版の EPD と有効性の確認は www.environdec.com を参照されたい。



概要

EPD 情報	
プログラム:	The International EPD® System
住所:	EPD International AB Box 210 60 SE-100 31 Stockholm Sweden
サイト情報:	www.environdec.com
E-mail:	support@environdec.com

製品カテゴリールール(PCR)
CEN standard EN 15804
PCR: PCR 2019:14 Construction Products, Version 2.0.1 UN CPC Code:31420
PCR のレビューは The International EPD System の技術委員会によって実施された。 メンバーの全リストは www.environdec.com で参照されたい。 また、e-mail(support@environdec.com)で連絡できる。
c-PCR: c-PCR-006 Wood and wood - based products for use in Construction (EN 16485:2014)

第三者検証
ISO 14025:2006 に準拠した第三者検証: <input checked="" type="checkbox"/> 事前検証済みの LCA/EPD ツールを使用しない個別の EPD 検証 第三者検証: EPA Corporation 柳澤 衛 承認機関: International EPD System EPD 有効期間中のデータのフォローアップ手順は、第三者検証者が関与する。 <input type="checkbox"/> Yes <input checked="" type="checkbox"/> No

本 EPD の所有権、責任および説明責任は EPD 保有者に帰属する。

同一の製品カテゴリーに属する EPD であっても、異なる EPD プログラムで発行された EPD 同士は原則として比較可能ではない。

EPD 同士の比較は、同一または完全に整合した PCR に基づき、同一の機能・技術性能・用途、同一の宣言単位（または機能単位）、同一のライフサイクル範囲および影響評価手法が適用され、かつ比較時点において有効である場合にのみ可能である。

EPD の比較可能性に関する詳細は、EN 15804 および ISO 14025 を参照されたい。

EPD 所有者に関する情報

EPD 所有者:

伊藤忠建材株式会社 <https://www.ick.co.jp/>

住所 : 〒103-8419 東京都中央区日本橋大伝馬町 1-4 野村不動産日本橋大伝馬ビル 8 階

連絡先 : 木質素材本部 企画管理課 TEL : 03-3661-1404 FAX : 03-3661-6721

石本 E-mail : kazutaka.ishimoto@ick.co.jp 携帯 : 090-6108-2891

寺西 E-mail : tatsunori.teranishi@ick.co.jp

EPD 所有者より委託された LCA 実施者

丸玉木材株式会社茨城工場 <http://www.marutama-ind.com/>

住所 : 〒311-3498 茨城県小美玉市上玉里 2256

連絡先 : 品質管理部 TEL : 0299-26-5141 FAX : 0299-36-3257

E-mail: info@marutama-s.co.jp

組織の説明

EPD 所有者 :

伊藤忠建材株式会社は環境に配慮した建設資材を中心とする「地球樹」事業に取り組んでいる。

日本全国とインドネシア、マレーシア、中国、イギリスにビジネス拠点をもち

数多くの仕入先と販売先を繋ぐグローバル・ネットワークの構築を目指す。

LCA 実施者 :

丸玉木材株式会社は、伊藤忠建材株式会社に OEM として製品を供給している。

本製品に関する製造拠点

合板基材製造 : 津別工場 第一商品部 〒092-0203 北海道網走郡津別町字達美 162

第二商品部 〒092-0203 北海道網走郡津別町字達美 179

二次加工 : 茨城工場 〒311-3498 茨城県小美玉市上玉里 2256

舞鶴工場 〒625-0133 京都府舞鶴市字平 1157

丸玉木材津別工場は植林地に隣接しており、合板工場から排出される木質廃材を燃料としたバイオマスエネルギーにより工場内の全設備に電力と熱を充当するほか、余剰となる電力は売電している。その利益は津別町に寄付し、「丸玉木材森づくり基金」として、地域材の持続的成長に向けた支援に使われている。丸玉木材は木材資源の循環利用と有効活用を推進し、低炭素社会の実現に貢献している。

工場取得認証

- ・ ISO 9001 認証 (津別工場/茨城工場/舞鶴工場)
- ・ SGEC CoC 認証 JAFTA-SGEC-COC-133 (津別工場/茨城工場)

製品情報

製品名： 片面ボード用原紙張合板

製造規格： 厚さ 9.5/12.5mm、幅 910/1000mm、長さ 1820/2440mm

製品荷姿：



UN CPC コード： 31420

製品説明：

植林・育林された北海道産針葉樹を 100%使用した合板の表面にライナー紙（再生パルプ）を張り付けたクロス下地用合板である。2010 年に製造・販売を開始し、現在も拡販を続けている。

認証その他取得：

2018 年 建築基準法に基づく構造方法等の認定（大臣認定）木造軸組耐力壁 3.7 倍取得

2025 年 愛知県減災協議会耐震向上評価取得

製品情報：<https://www.ick.co.jp/chikyugi/>

宣言内容

製品 1 単位（宣言単位）あたりの重量: 443.5kg/m³

製品構成内容:

製品構成	重量(kg)	使用後リサイクル材含有率 (製品質量比)	生物起源材料含有率 (製品質量比)	生物起源炭素量 (kg C/m ³ product)
合板	426.0	0.0%	81.2%	191.4
接着剤	3.9	0.0%	0.0%	0.0
ライナー紙 (パルプ系)	13.6	3.1%	3.1%	5.2
合計	443.5 ^{*1}	3.1%	84.2%	196.6

*1 全製品の平均重量を示す。

生物起源炭素量：196.6 kg C per m³ product

包装の質量および内容：

包装材料	重量(kg)	製品に対する質量比 (%)	生物起源炭素量 (kg C/m ³)
PP	0.07	0.02%	0.00
製品名表示ダンボール	0.49	0.11%	0.02
合計	0.56	0.13%	0.02

製品に含まれる物質の環境特性および有毒性/毒性に関する情報

本製品には、欧州化学物質規則 REACH (Regulation (EC) No 1907/2006) に基づく高懸念物質 (SVHC) 候補リスト収載物質は、いずれも質量比 0.1% を超えて含有していない。

また、PCR で申告が求められるその他の有害物質または毒性物質についても、各規定閾値を超えて含有する物質は存在しない。

さらに本製品は、REACH 規則において SVHC 物質を 0.1% (w/w) 超含有しないことに加え、日本の室内空気質規制にも適合している製品である。

これには、4VOC 放散基準およびホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ 基準への適合が含まれる。

LCA 情報

宣言単位：片面ボード用原紙張合板 1m³

本 EPD は、建設製品を対象とした Cradle-to-gate オプション付き EPD であり、宣言単位は片面ボード用原紙張合板 1m³である。

製品寸法：厚さ 9.5/12.5mm、幅 910/1000mm、長さ 1820/2440mm

本 EPD は複数製品 EPD として発行されており、生産量が最も多い 12.5mm x 910mm x 1820mm の製品を代表としている。

すべての製品サイズにおいて材料構成および製造工程は同一であるため、宣言単位（1 m³）当たりの環境影響は、記載されたすべての製品サイズを代表している。

宣言単位当たりの質量換算係数：443.5kg/m³

参照耐用年数（RSL）：該当なし

時間的代表性：

本算定は、2024 年 4 月～2025 年 3 月に収集したデータに基づいている。

地理的範囲：日本

使用したデータベースおよび LCA ソフトウェア：

- ・ LCA ソフトウェア : SimaPro v10.2.0.3
- ・ データベース : Ecoinvent 3.11(Cut-off システムモデル)

カットオフの適用

本 EPD では、データ収集が困難と想定される工程、またはライフサイクル影響評価への寄与が小さいと判断される工程について、カットオフを適用した。

カットオフ対象は以下のとおり。

- ・ 手袋、マスク、作業服、清掃用品など、製品製造に直接関与せず、工場内で一般的に使用される副資材

- ・工場などの生産設備、自動車・船舶・鉄道・道路などの輸送インフラ、複数年にわたり使用される資本財の建設
- ・原材料の包装材の廃棄

各モジュールのライフサイクルインベントリは、EN 15804 に従い、質量およびエネルギー投入の合計の少なくとも 95%以上を網羅していることを確認した。

システム境界の説明：

Cradle-to-gate (A1 - A3 および A5)

ライフサイクルインベントリには以下を含む。

- ・上流製造の原材料（鋼材、その他副資材、化学製品、包装材・部品）
- ・原木の育成および加工
- ・海上、鉄道、陸送による原材料の輸送
- ・工場内輸送
- ・エネルギー（電力、蒸気、灯油、ガソリン）および熱の消費、水利用
- ・排水、廃棄物処理
- ・下流段階における廃棄物の取り扱い
- ・施工段階（モジュール A5）には、包装材の廃棄を除き、施工現場における追加的な材料投入、エネルギー使用および排出は考慮していない。

モジュール C：廃棄段階 (C1-C4)

解体は、軽電動工具を用いた手作業で行われると想定している。

多少の破損が生じる可能性はあるが、PCR 2019:14 の規定値に従い、撤去材はすべてモジュール C2～C4 へ送られるものとしてモデル化している。

廃棄段階の処理（リサイクル、エネルギー回収、最終処分）は、PCR2019:14 表 4 に定義された設定条件と日本の平均的な廃棄物処理比率を用いてモデル化している。

モジュール C1～C4 の設計条件（PCR 2019:14 表 4 規定値）

- ・ C1：解体 1.1 kWh/t（ディーゼル）
- ・ C2：廃棄物処理施設までの輸送 130 km
- ・ C3：選別 2.2 kWh/t（電力）
- ・ C4：破碎 6 kWh/t（ディーゼル）

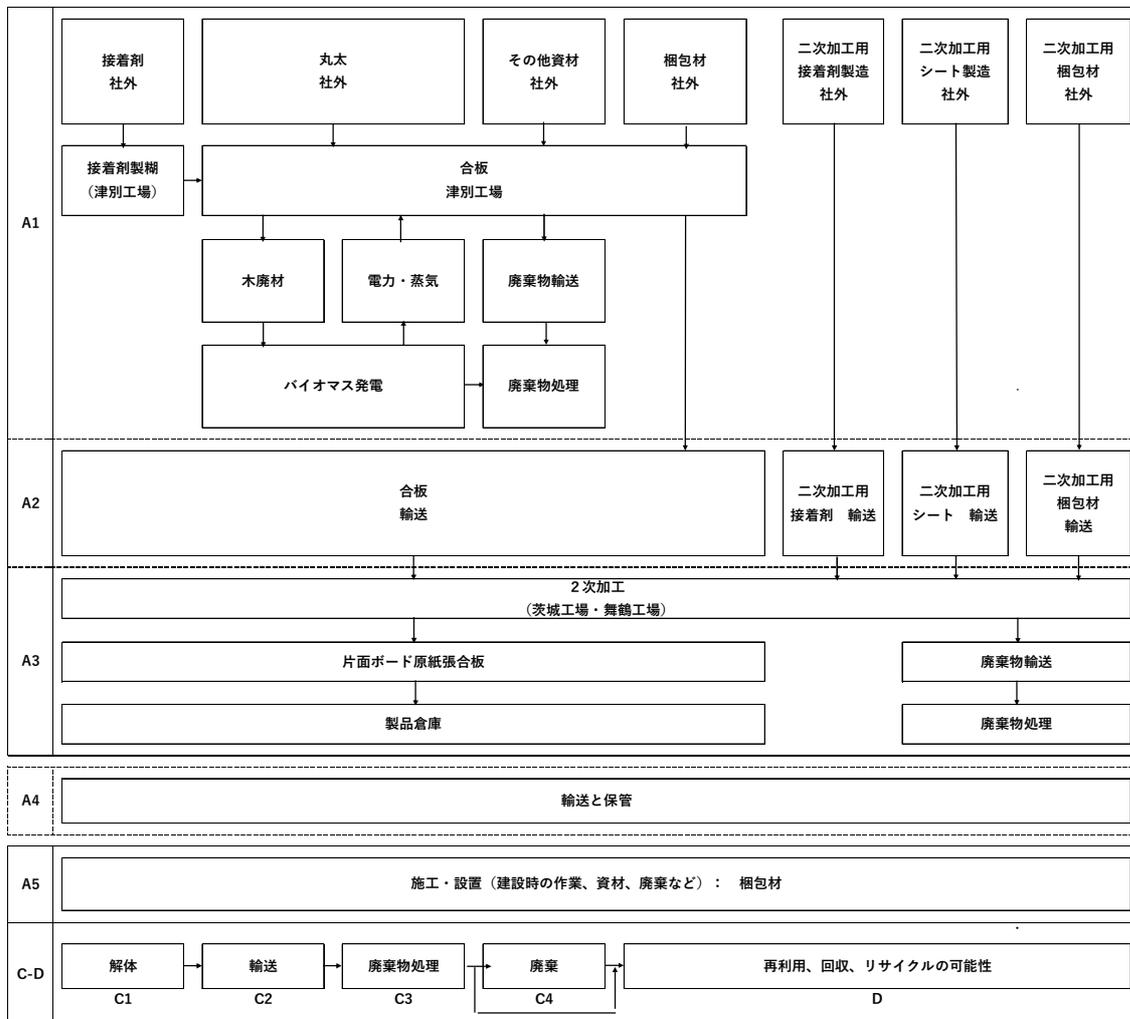
モジュールD：システム境界外の便益および負荷

ここでは、回収された二次材料および燃料からの潜在的な便益および負荷を報告する。

便益は、従来型エネルギーまたは材料の生産回避によって生じ、負荷は、回収された材料および燃料の処理に伴って発生する。使用段階終了時において木材の88%が回収されると想定しており、そのうち64%はバイオマス燃料として、36%は材料リサイクルに利用される。バイオマス燃料から回収されたエネルギーは、EN15804+A2で要求される代替アプローチに従い、日本の平均的な電力および熱ミックスを代替するものとしてモデル化しているものである。

プロセスフロー図：

システム境界：Cradle-to-gate までモジュール A1-A3, A5, C1-C4, モジュール D を含む
オプション付き



追加情報：

環境性能指標の結果：

本 EPD に含まれる製品について、指標ごとに平均値の結果を報告している。

LCA 結果は、本 EPD の対象製品群における環境影響の平均値として算出している。

生産拠点間の配分は茨城工場 50%、舞鶴工場 50%と設定した。

カットオフルール：

- ・ データ収集は、主要な原材料およびエネルギー消費を対象としている。
- ・ 利用可能なデータが存在する限り、各単位プロセスのすべての入出力を算定に含めている。
- ・ 総質量またはエネルギーフローの 1%を超える単位プロセスで、除外されたものはない。
- ・ モジュール別に除外された入出力フローの合計は、総エネルギー使用量または総質量の 5%を超えない。

配分ルール：

配分は、EN 15804 に従い、質量や体積などの物理的関係に基づいて実施している。

製品特定：

1. 製造工程

- ・ ローターリー切削
北海道産の植林木（トドマツ等）から単板を製造する工程。
- ・ 積層および熱圧
単板に接着剤を塗布し、組み合わせて積層し、熱圧成形により基材合板を製造する工程。
- ・ 仕上げ
側面の切断および表裏面の研磨により平滑な板面を仕上げる工程。
- ・ 表面加工（ラミネート）
パルプ系ライナー紙を表面に張り合わせ、ボード用原紙張合板を製造する工程。

2. 用途

在来軸組工法における内装壁、収納部材、カーテンボックス、耐力壁等に使用される製品である。

3. 性能

- ・ 釘保持力は JAS 構造用合板と同等
- ・ 軽量で加工性に優れ、住宅リフォーム用途にも適する。

独自の影響評価手法は使用しておらず、算定結果は再現可能である。

本 EPD では独自の影響評価手法は使用していないため、算定は再現可能である。

使用した影響評価手法は以下の通りである。

ID	影響指標	単位	モデル
1	気候変動-総量 (Climate change - Total)	kg CO2 eq	EN 15804 + A2 (adapted) V1.03 / EF 3.1 正規化および重み付けセット
2	気候変動-生物起源 (Climate change - Biogenic)	kg CO2 eq	
3	気候変動-化石燃料 (Climate change - Fossil)	kg CO2 eq	
4	気候変動-土地利用および土地利用変化 (Climate change - Land use and LU change)	kg CO2 eq	
5	オゾン層破壊 (Ozone depletion)	kg CFC11 eq	
6	酸性化 (Acidification)	mol H ⁺ eq	
7	富栄養化 (淡水) (Eutrophication, freshwater)	kg P eq	
8	富栄養化 (海洋) (Eutrophication, marine)	kg N eq	
9	富栄養化 (陸域) (Eutrophication, terrestrial)	mol N eq	
10	光化学オゾン生成 (Photochemical ozone formation)	kg NMVOC eq	
11	非生物資源の枯渇-鉱物と金属 (Depletion of abiotic resources - minerals and metals)	kg Sb eq	
12	非生物資源の枯渇-化石燃料 (Depletion of abiotic resources - fossil fuels)	MJ	
13	水使用 (Water use)	m ³ depriv.	

宣言されたモジュール、地理的範囲、一次データの割合（GWP-GHG 結果）およびデータ変動（GWP-GHG 結果）：

モジュール	製品段階			流通・施工段階		使用段階							廃棄段階				製品ライフサイクル外
	原材料供給	輸送	製造	輸送	建設時施工	使用	保守	修理	交換	改修	運用時エネルギー使用	運用時水使用	解体・撤去	輸送	廃棄物処理	最終処分	再利用、回収 リサイクルの可能性
モジュール	A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
宣言されたモジュール	X	X	X	ND	X	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	X	X	X	X	X
地理	JP	JP	JP	-	GLO	-	-	-	-	-	-	-	GLO	GLO	GLO	GLO	GLO
一次データの割合	44.7%*			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
バリエーション製品	<10%			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
バリエーション製造拠点	<10%			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*一次データの比率は、GWP-GHG 結果に基づいて算定されている。本指標は、EPD 間の比較可能性における代表性を高めるため、一次データの使用促進を目的とした簡易的なデータ品質指標である。なお、本指標はデータ品質に関するすべての要素を網羅するものではなく、製品カテゴリ間での比較を目的としたものではない。データ品質に関する詳細については、該当箇所を参照されたい。

プロセス	情報源の種類	情報源	基準年	データ区分	A1～A3 の GWP-GHG 結果に占める一次データの割合
製品の製造 (製品の製造に使用される電力の発電を含む)	収集データ	EPD owner	2024-2025	一次データ	13.2%
原材料および包装材の製造拠点への輸送	データベース	EPD owner	2024-2025	一次データ	31.5%
投入原材料および包装材の生産	収集データ	EPD owner	2024-2025	一次データ	0%
A1～A3 における GWP-GHG 結果に対する一次データの総割合					44.7%

環境性能

製品の LCA 結果 – 主な環境性能結果

EN 15804 に基づく必須影響指標

機能単位・宣言単位あたりの結果								
指標	単位	A1-A3	A5	C1	C2	C3	C4	D
GWP-total	kg CO ₂ eq.	-1.30E+03	1.07E+00	1.77E-01	2.34E+01	1.61E+03	1.49E+00	-3.47E+01
GWP-fossil	kg CO ₂ eq.	2.98E+02	8.72E-01	1.77E-01	2.33E+01	1.87E+00	1.83E-01	4.00E+00
GWP-biogenic	kg CO ₂ eq.	-1.60E+03	1.88E-01	3.58E-05	7.41E-03	1.61E+03	1.30E+00	-3.88E+01
GWP-luluc	kg CO ₂ eq.	8.51E-01	9.78E-03	1.81E-05	1.05E-02	1.88E-04	1.10E-04	6.64E-02
ODP	kg CFC11 eq.	1.75E-05	1.02E-06	2.63E-09	2.96E-07	2.87E-08	4.66E-09	1.27E-06
AP	mol H ⁺ eq.	3.75E+00	3.58E-03	1.58E-03	7.97E-02	1.41E-02	1.28E-03	2.46E-03
EP-freshwater	kg P eq.	8.35E-02	4.20E-04	5.70E-06	2.56E-03	3.73E-04	1.45E-04	2.10E-04
EP-marine	kg N eq.	7.05E-01	1.43E-03	7.36E-04	2.53E-02	5.78E-03	5.98E-03	6.13E-02
EP-terrestrial	mol N eq.	7.34E+00	9.49E-03	8.06E-03	2.74E-01	6.27E-02	5.36E-03	1.69E-01
POCP	kg NMVOC eq.	2.34E+00	3.72E-03	2.41E-03	1.08E-01	1.88E-02	2.21E-03	2.41E-01
ADP-minerals&metals*	kg Sb eq.	1.70E-03	3.83E-06	6.32E-08	7.65E-05	1.06E-06	3.38E-07	8.24E-06
ADP-fossil*	MJ	4.61E+03	1.21E+01	2.30E+00	3.23E+02	2.50E+01	4.09E+00	3.52E+01
WDP*	m ³	8.68E+01	2.83E-01	4.92E-03	1.50E+00	1.06E-01	-2.69E+00	9.89E+00
略語一覧	GWP-fossil = 地球温暖化係数(化石燃料); GWP-biogenic = 地球温暖化係数(生物起源); GWP-luluc = 地球温暖化係数(土地利用および土地利用変化); ODP = 成層圏オゾン層破壊ポテンシャル; AP = 酸性化ポテンシャル; EP-freshwater = 富栄養化ポテンシャル (淡水域終点に到達する栄養塩割合); EP-marine = 富栄養化ポテンシャル (海洋終点に到達する栄養塩割合); EP-terrestrial = 富栄養化ポテンシャル (陸域、Accumulated Exceedance 法); POCP = 対流圏オゾン生成ポテンシャル; ADP-minerals & metals = 非化石資源 (鉱物・金属) の枯渇ポテンシャル; ADP-fossil = 化石資源の枯渇ポテンシャル; WDP = 水資源利用枯渇ポテンシャル(不足重み付け水消費量)							

* 免責事項：本環境影響指標の結果は、不確実性が高い、または当該指標に関する知見が限定的であるため取り扱いには注意を要する。本影響評価結果は相対的な指標値であり、影響カテゴリーの終点閾値超過、安全余裕またはリスクを示すものではない。

環境パフォーマンス（指標の説明）

製品の LCA 結果 – 主な環境性能結果

EN 15804 に基づく必須影響指標

機能単位または宣言単位あたりの結果			
指標	単位	A1-A3	指標説明
GWP-total	kg CO ₂ eq.	-1.30E+03	地球温暖化係数（総量）
GWP-fossil	kg CO ₂ eq.	2.98E+02	地球温暖化係数(化石燃料)
GWP-biogenic	kg CO ₂ eq.	-1.60E+03	地球温暖化係数(生物起源)
GWP-landuse	kg CO ₂ eq.	8.51E-01	地球温暖化係数(土地利用および土地利用変化)
ODP	kg CFC11 eq.	1.75E-05	成層圏オゾン層破壊ポテンシャル
AP	mol H ⁺ eq.	3.75E+00	酸性化ポテンシャル
EP-freshwater	kg P eq.	8.35E-02	富栄養化ポテンシャル（淡水域終点到達する栄養塩割合）
EP-marine	kg N eq.	7.05E-01	富栄養化ポテンシャル（海洋終点到達する栄養塩割合）
EP-terrestrial	mol N eq.	7.34E+00	富栄養化ポテンシャル（陸域、Accumulated Exceedance 法）
POCP	kg NMVOC eq.	2.34E+00	対流圏オゾン生成ポテンシャル
ADP-minerals&metals*	kg Sb eq.	1.70E-03	非化石資源（鉱物・金属）の枯渇ポテンシャル
ADP-fossil*	MJ	4.61E+03	化石資源の枯渇ポテンシャル
WDP*	m ³	8.68E+01	水資源利用枯渇ポテンシャル(不足重み付け水消費量)

* 免責事項：本環境影響指標の結果は、不確実性が高い、または当該指標に関する知見が限定的であるため取り扱いには注意を要する。本影響評価結果は相対的な指標値であり、影響カテゴリーの終点閾値超過、安全余裕またはリスクを示すものではない。

追加の必須および任意の影響カテゴリー指標

宣言単位あたりの結果								
指標	単位	A1-A3	A5	C1	C2	C3	C4	D
GWP-GHG ¹	kg CO ₂ eq.	3.00E+02	9.65E-01	1.77E-01	2.34E+01	1.87E+00	1.22E+00	-3.30E+00
EN 15804 に基づく任意指標、または ISO 21930:2017 に基づくグローバル指標などの追加任意指標								

資源使用指標

宣言単位あたりの結果								
指標	単位	A1-A3	A5	C1	C2	C3	C4	D
PERE	MJ	2.77E+02	-5.78E+00	1.41E-02	4.32E+00	9.25E-01	-2.86E+02	3.01E+03
PERM	MJ	9.14E+03	7.67E+00	0	0	0	2.86E+02	-9.02E+02
PERT	MJ	9.41E+03	1.89E+00	1.41E-02	4.32E+00	9.25E-01	5.26E-02	2.11E+03
PENRE	MJ	3.59E+03	7.59E+00	5.47E-01	3.23E+02	1.25E+01	4.09E+00	3.52E+01
PENRM	MJ	1.02E+03	4.54E+00	1.76E+00	0	1.25E+01	0	0
PENRT	MJ	4.61E+03	1.21E+01	2.30E+00	3.23E+02	2.50E+01	4.09E+00	3.52E+01
SM	kg	0	0	0	0	0	0	0
RSF	MJ	0	0	0	0	0	0	0
NRSF	MJ	0	0	0	0	0	0	0
FW	m ³	2.54E+00	8.83E-03	1.63E-04	4.46E-02	3.15E-03	-6.25E-02	2.31E-01
略語一覧	PERE = 原材料として使用されない再生可能一次エネルギーの使用量; PERM = 原材料として使用される再生可能一次エネルギー資源の使用量; PERT = 再生可能一次エネルギー資源の総使用量; PENRE = 原材料として使用されない非再生可能一次エネルギーの使用量; PENRM = 原材料として使用される非再生可能一次エネルギー資源の使用量; PENRT = 非再生可能一次エネルギー資源の総使用量; SM = 二次材料の使用量; RSF = 再生可能二次燃料の使用量; NRSF = 非再生可能二次燃料の使用量; FW = 正味淡水使用量							

追加の必須および任意の影響カテゴリー指標（指標の説明）

宣言単位あたりの結果			
指標	単位	A1-A3	コメント
GWP-GHG ¹	kg CO ₂ eq.	3.00E+02	EN 15804 に基づく任意指標、または ISO 21930:2017 に基づくグローバル指標などの追加任意指標

資源利用指標（指標の説明）

宣言単位あたりの結果			
指標	単位	A1-A3	指標説明
PERE	MJ	2.77E+02	原材料として使用されない再生可能一次エネルギーの使用量
PERM	MJ	9.14E+03	原材料として使用される再生可能一次エネルギー資源の使用量
PERT	MJ	9.41E+03	再生可能一次エネルギー資源の総使用量
PENRE	MJ	3.59E+03	原材料として使用されない非再生可能一次エネルギーの使用量
PENRM	MJ	1.02E+03	原材料として使用される非再生可能一次エネルギー資源の使用量
PENRT	MJ	4.61E+03	非再生可能一次エネルギー資源の総使用量
SM	kg	0	二次材料の使用量
RSF	MJ	0	再生可能二次燃料の使用量
NRSF	MJ	0	非再生可能二次燃料の使用量
FW	m ³	2.54E+00	正味淡水使用量

¹ 本指標は、バイオジェニック炭素の吸収および排出、ならびに製品中に貯蔵されているバイオジェニック炭素を除く、すべての温室効果ガスを対象とする。そのため、本指標は GWP-total と同一であるが、バイオジェニック CO₂ の特性化係数 (CF) をゼロに設定している点異なる。

廃棄物指標

宣言単位当たりの結果								
指標	単位	A1-A3	A5	C1	C2	C3	C4	D
有害廃棄物 処分量	kg	1.86E-01	3.32E-03	1.56E-03	1.50E+01	2.14E-02	1.69E+01	-7.29E+01
非有害廃棄物 処分量	kg	6.16E+01	1.06E-01	1.56E-03	1.50E+01	2.12E-02	1.69E+01	-7.34E+01
放射性廃棄物 処分量	kg	2.51E-03	1.02E-05	2.41E-07	6.38E-05	2.00E-05	8.07E-07	-2.38E-05

アウトプットフロー指標

宣言単位当たりの結果								
指標	単位	A1-A3	A5	C1	C2	C3	C4	D
再使用可能な 部材	kg	0	0	0	0	0	0	0
リサイクル向け 材料	kg	0	0	0	0	0	0	0
エネルギー回収 向け材料	kg	0	0	0	0	0	0	0
輸出エネルギー (電力)	MJ	6.85E+00	2.65E-01	0	0	0	0	0
輸出エネルギー (熱)	MJ	1.34E+01	5.31E-01	0	0	0	0	0

廃棄物指標（指標の説明）

宣言単位当たりの結果		
指標	単位	A1-A3
有害廃棄物処分量	kg	1.86E-01
非有害廃棄物処分量	kg	6.16E+01
放射性廃棄物処分量	kg	2.51E-03

アウトプットフロー指標（指標の説明）

宣言単位当たりの結果		
指標	単位	A1-A3
再使用可能な部材	kg	0
リサイクル向け材料	kg	0
エネルギー回収向け材料	kg	0
輸出エネルギー(電力)	MJ	6.85E+00
輸出エネルギー(熱)	MJ	1.34E+01

製品の追加的な LCA 結果（その他の環境性能結果）

最小および最大の便益を示すケースを表すため、代替使用後シナリオ（EOL シナリオ）を設定した。下記の LCA 結果に示すように、製品の全構成要素をリサイクルした場合が後続製品システムへの最大の便益をもたらす。一方、すべての構成要素を回収なしで埋立処分した場合、後続製品システムへの寄与はない。

100%埋立処理 機能単位または宣言単位あたりの結果								
指標	単位	A1-A3	A5	C1	C2	C3	C4	D
GWP-total	kg CO ₂ eq.	-1.30E+03	1.07E+00	1.77E-01	1.44E+01	0	3.91E+01	0
GWP-fossil	kg CO ₂ eq.	2.98E+02	8.72E-01	1.77E-01	1.44E+01	0	4.82E+00	0
GWP-biogenic	kg CO ₂ eq.	-7.20E+02	8.27E-02	1.97E-05	5.81E-03	0	3.43E+01	0
GWP-luluc	kg CO ₂ eq.	8.51E-01	9.78E-03	1.81E-05	6.43E-03	0	2.89E-03	0
ODP	kg CFC 11 eq.	1.75E-05	1.02E-06	2.63E-09	1.82E-07	0	1.23E-07	0
AP	mol H ⁺ eq.	3.75E+00	3.58E-03	1.58E-03	4.90E-02	0	3.37E-02	0
EP-freshwater	kg P eq.	8.35E-02	4.20E-04	5.70E-06	1.58E-03	0	3.82E-03	0
EP-marine	kg N eq.	7.05E-01	1.43E-03	7.36E-04	1.55E-02	0	1.57E-01	0
EP-terrestrial	mol N eq.	7.34E+00	9.49E-03	8.06E-03	1.69E-01	0	1.41E-01	0
POCP	kg NMVOC eq.	2.34E+00	3.72E-03	2.41E-03	6.64E-02	0	5.83E-02	0
ADP-minerals&metals	kg Sb eq.	1.70E-03	3.83E-06	6.32E-08	4.71E-05	0	8.91E-06	0
ADP-fossil	MJ	4.61E+03	1.21E+01	2.30E+00	1.99E+02	0	1.08E+02	0
WDP	m ³	8.68E+01	2.83E-01	4.92E-03	9.24E-01	0	-7.07E+01	0

100%リサイクル 機能単位または宣言単位あたりの結果								
指標	単位	A1-A3	A5	C1	C2	C3	C4	D
GWP-total	kg CO ₂ eq.	-1.30E+03	1.07E+00	1.77E-01	2.34E+01	1.61E+03	0	-3.41E+01
GWP-fossil	kg CO ₂ eq.	2.98E+02	8.72E-01	1.77E-01	2.33E+01	1.87E+00	0	5.20E+00
GWP-biogenic	kg CO ₂ eq.	-7.20E+02	8.27E-02	1.97E-05	5.81E-03	7.21E+02	0	-3.94E+01
GWP-luluc	kg CO ₂ eq.	8.51E-01	9.78E-03	1.81E-05	1.05E-02	1.88E-04	0	7.59E-02
ODP	kg CFC 11 eq.	1.75E-05	1.02E-06	2.63E-09	2.96E-07	2.87E-08	0	1.46E-06
AP	mol H ⁺ eq.	3.75E+00	3.58E-03	1.58E-03	7.97E-02	1.41E-02	0	7.39E-03
EP-freshwater	kg P eq.	8.35E-02	4.20E-04	5.70E-06	2.56E-03	3.73E-04	0	7.59E-04
EP-marine	kg N eq.	7.05E-01	1.43E-03	7.36E-04	2.53E-02	5.78E-03	0	9.11E-02
EP-terrestrial	mol N eq.	7.34E+00	9.49E-03	8.06E-03	2.74E-01	6.27E-02	0	2.11E-01
POCP	kg NMVOC eq.	2.34E+00	3.72E-03	2.41E-03	1.08E-01	1.88E-02	0	2.82E-01
ADP-minerals&metals	kg Sb eq.	1.70E-03	3.83E-06	6.32E-08	7.65E-05	1.06E-06	0	1.06E-05
ADP-fossil	MJ	4.61E+03	1.21E+01	2.30E+00	3.23E+02	2.50E+01	0	5.46E+01
WDP	m ³	8.68E+01	2.83E-01	4.92E-03	1.50E+00	1.06E-01	0	1.60E+00

製品一覧

製品番号	寸法(mm)	体積 (m ³)	重量 (kg)
1	9.5 × 910 × 1820	1.57E-02	6.97E+00
2	9.5 × 910 × 2440	2.11E-02	9.36E+00
3	12.5 × 910 × 1820	2.07E-02	9.19E+00
4	12.5 × 910 × 2440	2.78E-02	1.23E+01
5	12.5 × 1000 × 2000	2.50E-02	1.11E+01

改訂履歴

EPD 初版 (2026-01-05)

参考文献

- International EPD®System 一般プログラム指針 Version 5.0.1
- PCR 2019:14 Construction products (EN 15804: A2) (version 2.0.1)
- c-PCR-006 Wood and wood - based products for use in Construction (EN 16485:2014)
- ISO 14020:2000 環境ラベルおよび環境宣言 — 一般原則
- ISO 14040:2006 環境マネジメント — ライフサイクルアセスメント — 原則および枠組み
- ISO 14044:2006 環境マネジメント — ライフサイクルアセスメント — 要求事項および指針

